

旧門脇小学校及び旧大川小学校の震災遺構化に関する検討・調整結果 概要版（旧大川小学校）

1. 旧大川小学校における東日本大震災の伝承の意義

・旧大川小学校は、防災教育や多くの犠牲者を悼む慰霊・鎮魂と避難の重要性を忘れないための場所であり、それらを伝承することが重要です。

- ①防災教育としての場所です。
- ②河口から上流5kmにおける大きな津波被害を経験した施設です。
- ③多くの犠牲者を悼む慰霊・鎮魂と避難の重要性を忘れないための場所です。
- ④地域の歴史を伝えるシンボルです。



■旧大川小学校の現在の様子

2. 旧大川小学校（建物）における震災遺構としての対応パターン

・旧大川小学校（建物）を震災遺構とする場合のパターンとしては、解体・一部保存・全部保存の3パターンが考えられます。

■対応パターンとそのイメージ

パターン	イメージ図
①解体パターン ・校舎を全て解体します。	
②一部保存パターン ・校舎を部分的に保存します。 ・校舎を「公開活用をする」パターンと公開活用をしないパターンがあります。	
③全部保存パターン ・校舎を全て保存します。 ・校舎を「公開活用をする」パターンと「公開活用をしない」パターンがあります。	

■概算事業費

(単位：千円)

	解体	部分保存		全部保存		
	校舎全て	公開活用あり	公開活用なし	一部公開活用あり	公開活用あり	公開活用なし
解体整備費	220,440	472,842	209,958	425,054	667,754	223,854
維持管理運営費	1,573	16,206	6,559	20,908	23,393	10,959

3. 震災遺構とする場合のパターン別課題

・各パターンには、伝承の考え方や建物の状況、立場などによって様々な課題があります。

■パターン別の課題

	解体パターン	部分保存パターン	全部保存パターン
震災の記憶の伝承	①防災教育 △建物による伝承が難しくなります。 ・建物の解体・保存に関わらず、校舎敷地や周辺環境を含めた展開が有効です。	○一部ではあるが、建物により伝承ができます。	◎建物により伝承ができます。
	②河口から上流 5km における大きな津波被害を経験 △建物による伝承が難しくなります。	○一部ではあるが、建物により伝承ができます。	◎建物により伝承ができます。
	③多くの犠牲者を悼む慰霊・鎮魂と避難の重要性を忘れないための場所 ・建物の解体・保存に関わらず、校舎敷地や周辺環境を含めた伝承が必要です。		
	④地域の歴史を伝えるシンボル △建物による伝承が難しくなります。	○一部ではあるが、建物により伝承ができます。	◎建物により伝承ができます。
建物現況と構造	◎耐震補強が必要ありません。		
市民アンケートの概要	・37.2%が解体を希望しています。	・32.1%が部分保存を希望しています。	・28.3%が全部保存を希望しています。
地区住民アンケートの概要	・54.4%が解体を希望しています。	・20.4%が部分保存を希望しています。	・24.6%が全部保存を希望しています。
意見交換会の概要	・特にありません。	・特にありません。	・遺すことにより未来に向かって伝承が図られるためです。
市民・住民の意向への配慮	・立場により評価が分かれます。		
地区の景観・まちづくり	・新しい景観形成やまちづくりが可能です。	・新旧の景観やまちづくりの融合が基本となります。	・現建物による景観の継承が必要です。
事業費	・公開活用の有無等によって、初期投資、維持管理・運営費が異なります。		

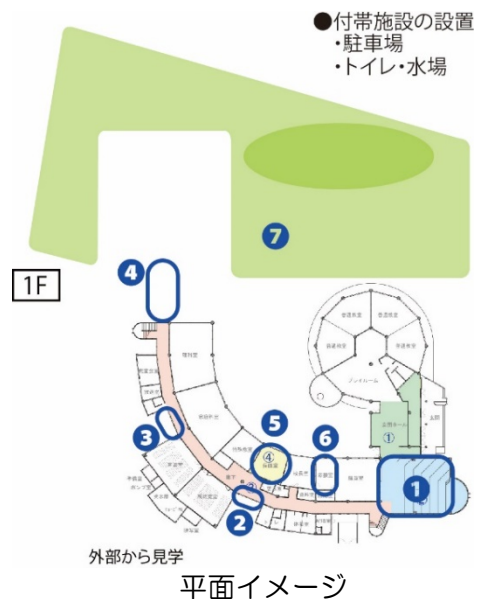
4. ケーススタディ

・各パターンが抱える様々な課題の解決のために3つのケースを検討しました。

【ケースA】全部を保存するが、校舎内を公開せず、最小限の整備で震災伝承を図る

1 震災伝承の基本的な考え方

- ・校舎の全てを保存することで、「津波に依る被害」、「追悼・メモリアル」、「学校生活の記憶」を伝承します。
- ・校舎内部に立ち入ることはできないが、外部の公開範囲を定め、津波被害の痕跡を伝えます。



2 良い部分（メリット）と課題（デメリット）

<p>○良い部分（メリット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区住民（復興協議会）が望む全部保存に応えることができます。 ・内部公開しないため、事業費を最低限に抑えることができます。 	<p>●課題（デメリット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体を望む住民アンケートの声に答えることができません。
--	--

【ケースB】校舎の全てを保存し、1階の一部を公開して震災伝承を図る

1 震災伝承の基本的な考え方

- ・1階の一部を公開することにより、「津波に依る被害」、「追悼・メモリアル」、「学校生活の記憶」を伝承します。

2 良い部分（メリット）と課題（デメリット）

<p>○良い部分（メリット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区住民（復興協議会）が望む全部保存に応え、部分的ではあるが内部公開することにより、防災・減災に活かせる教訓を伝承することができます。
<p>●課題（デメリット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体を望む住民アンケートの声に答えることができません。



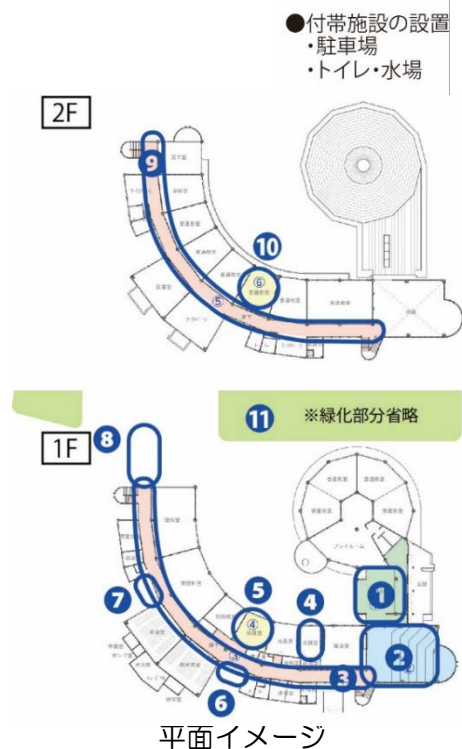
【ケースC】校舎の全てを保存し、内部を公開して震災伝承を図る

1 震災伝承の基本的な考え方

- ・2階も含めた校舎内部を公開することにより、「津波に依る被害」、「追悼・メモリアル」、「学校生活の記憶」を伝承します。

2 良い部分（メリット）と課題（デメリット）

<p>○良い部分（メリット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区住民（復興協議会）が望む全部保存に応え、内部公開することにより津波被害についての震災伝承を図ることができます。
<p>●課題（デメリット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体を望む住民アンケートの声に答えることができません。



【各ケース】事業費

・3つのケースの事業費を検討しました。

■各ケースの事業費

(単位：千円)

	ケースA	ケースB	ケースC
解体整備費	223,854	425,054	667,754
維持管理 運営費	10,959	20,908	23,393

参考：旧大川小学校の位置と周辺状況

